

あれから何度も計画をしますが、天候に恵まれず数回延期。

そんな中、メンバーの一人が会を退会。そして私が大阪転勤で退会、さらにコロナ！

継続して山の会にいるメンバーは中堅となり、行こうと思えばいつでも行ける実力はあったはず・・・

それでも「赤岳」だけは行かずに残っていてくれて、感謝しています。

そんなこんなで、私が会に復帰。さあ今年こそと早々に計画しました。

天気は怪しかったのですが、思い切って決行！



天気も回復し、爽やかに出発
まずは行者小屋を目指します。

地図を見るとそれほど苦労せず行けるは
ずが、脚が進みません。最後のコンビニで
買ったワインがずっしり感じます。明らかに
トレーニング不足。

行者小屋にようやく到着。文三郎尾根から
赤岳へ向かう予定を変更し、地藏尾根
を通り、いったん展望荘へ荷物デポを提
案。リーダー逃げを打ちます。

結果これがいい判断となります。



燃え尽きて灰になるリーダー

地藏の頭までの標準タイム 1:25 のところ
1:40 かかってしまいます。

やっとの思いで展望荘へ。

少し休んで赤岳へアタックするも、ほんの5
分歩いたところで、両足完全にアウト。立
ち上がれません。

予定変更で赤岳アタックを翌日へ変更し
ました（皆さんごめん）



ゆっくりコーヒー淹れて、早めの夕食を食べ、初日は終了（俺だけ早寝）

二日目

朝から快晴。昨日の脚へのダメージを気にしながら、出発。昨日行けなかった赤岳ピストンスタートです。

岩をよじ登り、念願の赤岳山頂へ
富士山もばっちり見えました



とにかく天気がよく、脚の状態もなんとか行けそう。では予定通り横岳、硫黄岳へ GO!



どこまでも青い空。

5年分の思いを胸に、快調に進みます。子鹿も何とか頑張ります。



それでは参加者の感想で終わりにします

(松藤) 登山経験ゼロで入会した私が、あの時は夢のまた夢でしかなかった赤岳に登れました。会で育てていただき心より感謝いたします。Z山君、タイガース仕様のヘルメット似合っていました。H村さん、今度はミソサザイが飛ぶところみたいです。

(細村) いつも赤岳は眺めるだけの山でした。挑戦するまでに5年もかかっていたので、憧れがますます募っていきました。美しい苔の森、岩がそそり立つ地蔵尾根、初めて出会った小さなお花たち。仲間と天候に恵まれ素晴らしい山行となりました。こんな険しい山に登れるようになったのだなあ赤岳に登ったあかつきには北横岳を見下ろすつもりでいましたが、山頂に立った我々の目に入ったのは、まだ登っていない高い山々でした。これからも一步一步、山に登っていきたいと思います。

おしまい。(ザキヤマ記)